

西河技術経営塾研究科前期 講義録 TA02

作成：瀧川 淳

**日時**：平成 29 年（2017 年） 6 月 16 日（金）午後 1 時 20 分 ～ 午後 2 時 45 分

**場所**：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）

**講師**：小平和一郎

**研究生**：瀧川 淳

**講義名**：(TA02)<sup>1</sup>「第 7 章のアジェンダ案を提示し担当部分・ストーリーの枠組みを決定する、第 17 章の研究テーマや方向性を協議する」

## 講義内容

### 1. 概要

第 2 回目（TA02）の講義（研修）を行った。内容は、瀧川より第 7 章「エンジニアリング・ブランドと技術経営を学ぶ」について担当部分のアジェンダ案を提出、問題意識やストーリーを発表し、打合せを実施した。

### 2. 小平からの要望とフィードバック

#### (1) 要望

塾での講義資料は、将来テキスト書籍として出版することを目指しているため、第三者の書籍や資料からの転用（直接引用、いわゆるコピー）は控えることを徹底する。

#### (2) フィードバック

提示された第 7 章のアジェンダ案の枠組み、ストーリーは問題ないので、この延長線上で完成させて良い。次回には、80～90%の完成度で提出すること。

### 3. 次回までの宿題

#### (1) 第 7 章についてアジェンダの完成

上記の通り、今回提示したアジェンダの延長線上のストーリーで進め、90%の完成度をめざし、アジェンダを用意する。

#### (2) 第 17 章についてアジェンダ案の作成

小平のテキストのうち、分類を再検討する。また、新しい事業モデルとして「C2C」で『メルカリ』について、従来の EC サービスやオークションサービスと比較しながら、なぜ急成長をしているかを研究する。また、通信分野の新しい事例として「音響通信」で、エヴィクサーのエンジニアリング・ブランド（Another Track）について報告する。

#### (3) 経営と技術経営の違いについて見解をレポート（A4、1 枚程度）

### 4. 次回日程

(1) 次回日程 7 月 14 日（金）10 時 30 分～12 時、財団にて。

#### (2) 参考資料

第 7 章の研究の参考資料として、下記書籍 2 件を選定した。  
『戦略的ブランド・マネジメント 第 3 版』(2010 年)『戦略的ブランド・マネジメント』(2004 年)、ケビン・レーン ケラー著 東急エージェンシー

第 17 章（ICT を活用した新規ビジネス）の研究に関する参考資料は、特に設けない。

以上

---

<sup>1</sup>（注）TA01：TA とは、Takigawa のこと。01 は、1 回目。第 2 回は、TA02 となる。